令和６年度大学・高専機能強化支援事業
（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
事業概要

令和6年2月申請時点

1.基本情報

大学名	新潟薬科大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	新潟
大学全体の総収容定員	1,875 名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	薬学部（薬学科）、応用生命科学部（応用生命科学科、生命産業ビジネス学科）、医療技術学部（臨床検査学科）、看護学部（看護学科）		

事業計画名	新潟薬科大学応用生命科学部グリーン・デジタル学科設置事業

2.事業概要

わが国におけるDXへの早急な対応と、「新潟県総合計画」、「にいがた産業ビジョン」、「新潟市総合計画2030」に掲げられた地域課題目標を達成するためには、新潟県の主要産業である**農・食品・バイオ・環境、すなわち「グリーン産業」に対する俯瞰的な視野を持ち、データサイエンス・AI等の知識を兼ね備え、グリーン産業にイノベーションをもたらし、同産業を先導する専門人材の育成が急務**である。その解決策として、**応用生命科学部（農学関係）**に入学定員55名、収容定員220名からなる**「グリーン・デジタル学科」を令和9年度に開設**する。（設置計画中）

新学科では、**実務家教員の活用や産学連携**により、グリーン産業及びデータサイエンス等の知識と技術を習得し、その集大成として「卒業研究」を配置する等、実践的かつ体系的なカリキュラムを編成する。また、グリーン・デジタル等の成長分野に貢献し、地域課題の解決に資する教育研究拠点として新校舎を整備する。

3.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和９年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	応用生命科学部グリーン・デジタル学科					
設置等組織の学位分野	農学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	新潟県新潟市秋葉区					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	55 名					
他学部等の入学定員の減少数	50 名					

令和6年度　新潟薬科大学

事業計画名	新潟薬科大学応用生命科学部グリーン・デジタル学科設置事業

基本情報

改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	応用生命科学部グリーン・デジタル学科	入学定員増数(合計数)	55
所在地	新潟県新潟市秋葉区	改組内容	既存学部における学科の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)	入学定員減数(合計数)	50

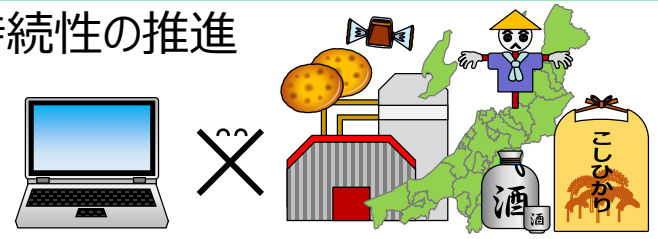
＜社会や地域のニーズ・課題＞

・日本国内における慢性的な理系人材の不足解消と急速に進むDX化に対応できるデジタル人材の育成は、喫緊の課題である。
・令和4年度に改定された「新潟県総合計画」に、新規項目「新たな重要課題への対応（デジタル改革への推進、脱炭素社会の実現に向けた取組）」が追加、さらにその総合計画を補完するビジョンとして「にいがた産業ビジョン」が策定され、“産業のデジタル化（デジタル技術活用による業務効率化・生産性向上等）“ 及び “地域産業を支える人材の育成・確保” が求められている。政令指定都市・新潟市においても「新潟市総合計画2030」を推進する視点として、“デジタル技術・データを活用” を挙げている。すなわち、地域においてもデジタル人材ニーズは高く、地域の産業や社会を支えるデジタル人材の育成が急務である。

都市と田園の調和がもたらす豊かな地域社会の持続性の推進

＜設置学部等の概要・コンセプト・特徴など＞

・応用生命科学部が20年間以上実践してきた農・食品・バイオ・環境分野等における教育を基盤にして、デジタル技術を活用した新たな価値やサービスを生み出すデータサイエンスを融合して発展させた教育を行い、DX/GX推進人材の育成により社会のサステナビリティを高める。
・「SDGs未来都市」に選定され、都市部と豊かな田園地域が混在する新潟市をフィールドとして、地域のサステナビリティを実現するため、農・食品・バイオ・環境の「グリーン産業」におけるデジタル技術の導入による産業社会構造の発展に貢献できる人材輩出を目指す。



＜育成する人材像＞

「グリーン産業」に対する俯瞰的な視野を持ち、データサイエンス・AI等の知識を兼ね備え、グリーン産業にイノベーションをもたらし、次世代技術に基づいた産業を先導する専門人材を育成する。

＜教育内容＞

1．「グリーン産業」の専門教育
　農・食品・バイオ・環境のグリーン産業を専門とする他学科の授業科目を教育課程に組み込み、分析対象となる業界の事業内容、ビジネスモデル、市場トレンド等に関わる知識・技術の習得
2．データサイエンス専門教育
　情報技術（プログラミング、データベース知識、データ処理スキル）、統計解析（数学の知識、データ分析手法、データ分析ソフトのスキル）を軸に、さらに機械・電子などの工学的知識を習得
3．　DX/GX実践科目「卒業研究」
　最終年度にそれまで学んだ知識・技術の集大成として「卒業研究」を配置し、地域課題に対してDX/GXの視点を持って実践
4．社会的・職業的自立基盤「キャリア教育」
　本学キャリア支援室及びキャリア支援委員会か構築する各種キャリア形成プログラムにより、学生の社会的・職業的自立を推進
5．人間性豊かな技術者育成
　本学がこれまでに構築してきた豊富な教養のカリキュラム編成による人間性豊かな人材育成のための教養教育

＜連携を通じた教育体制の整備＞

企業、自治体、公的研究機関等と連携して構築する社会連携授業科目の整備・実施

＜多様な入学者の確保＞

・複数の入試方式の実施及び新規入試科目「情報」の配置
・海外高等学校及び大学との連携協定を活用した留学生の受入れ強化
・「にいがた産学官共創コンソーシアム」包括連携協定による工業系教育機関からの学生の受入れ強化

＜教育研究環境の整備＞

グリーン・デジタル等の成長分野に貢献する教育研究を推進するための地域教育研究拠点（新棟）を整備

新潟薬科大学新学科設置構想委員会
（自治体、地域経済団体、DX/GX等関連企業、学識経験者、新潟薬科大学等）

社会や地域ニーズ・課題、育成する人材像、教育組織及び教育課程の方向性、多様な入学者確保、教育研究環境の充実等について協議し、ブラッシュアップする。